

第4次豊田市 生涯スポーツプラン 概要版

2022年度 ▶ 2025年度



豊 田 市

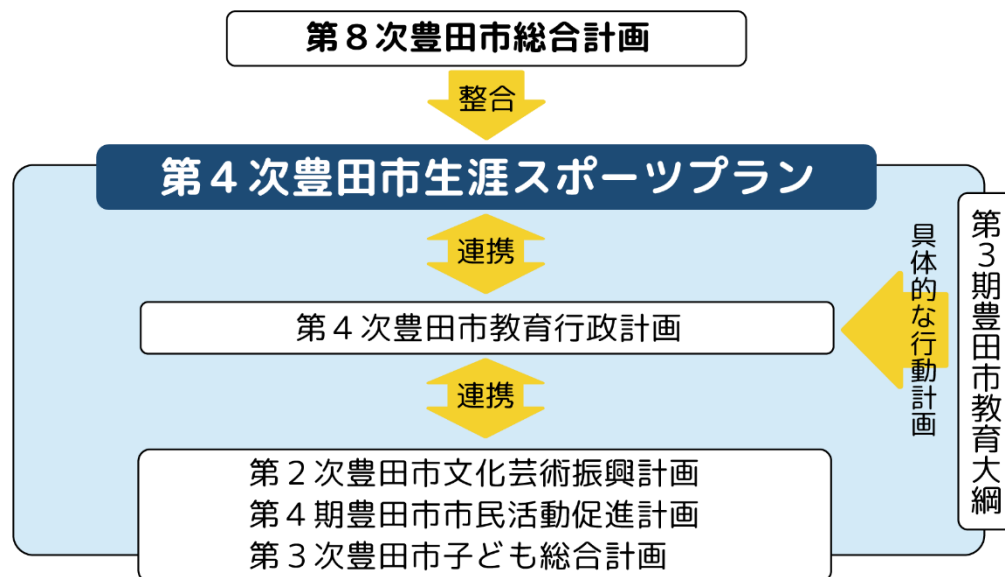
プランの策定にあたって

策定の目的

近年のスポーツを取り巻く環境は大きく変化している中で、スポーツに関する国の政策動向についても、社会経済状況に応じた政策が進められています。本市においても計画的にスポーツ施策を推進することが必要となっています。

このような背景から、本市では「第8次豊田市総合計画」との整合性を図りつつ、スポーツを取り巻く社会情勢の変化や現状と課題に対応したスポーツ施策を計画的に推進するため、新たに「第4次豊田市生涯スポーツプラン」を策定しました。

プランの位置づけと期間



本プランの期間は、2022年度～2025年度の4年間とします。必要に応じて内容の見直しを行いながら、プランを推進していきます。

プランにおけるスポーツの定義

競技スポーツや学校教育（体育・部活動等）だけではなく、ウォーキングや散歩、ストレッチやヨガなどの日常的な運動、キャンプや釣りなどの野外スポーツ、さらに徒歩や自転車による買い物・通勤などの日常生活における体力づくりや健康の保持増進を意識した活動までを幅広く、「スポーツ」としてとらえます。



豊田市のスポーツに関する課題

市民のスポーツ活動に関する現状などを「豊田市の教育に関するアンケート調査※」の結果等をもとに把握し、スポーツを取り巻く課題として「する」「楽しむ」「支える」の観点から整理しました。

する

子どものスポーツ推進

スポーツの楽しさに気付く機会づくりの推進や受け皿となるスポーツ環境の充実が必要

成人のスポーツ推進

体力等のレベルや趣向に応じたスポーツ機会の提供が必要

障がい者のスポーツ推進

気軽にスポーツに取り組める機会・環境づくりが必要

楽しむ

トップアスリートやトップスポーツチームとの連携

アスリートやチームの応援、交流の機会を充実し、積極的に情報発信を行うことが必要

大規模スポーツ施設の活用

豊田スタジアム・スカイホール豊田を活用した「見る」スポーツを推進する取組が必要

スポーツを通じた地域の活性化

より効果的なスポーツツーリズムの取組を推進することが必要

支える

人材・組織の育成、連携・共働の取組推進

スポーツ団体や指導者の活動への支援をするとともに支える仕組みの構築が必要

スポーツ施設の運営・維持管理

施設の適切な維持・管理・運営や利便性を向上させることが必要

スポーツに関する情報発信

スポーツへの関心を高めるため、適切かつタイムリーな情報を多様な媒体で発信することが必要

※「豊田市の教育に関するアンケート調査」とは、豊田市の教育行政を取り巻く現状を把握するために2020年7月～9月に実施したアンケート調査で、スポーツについての質問も行いました。

めざす姿

様々な世代が、スポーツを通じて
楽しく健康で生き生きと活躍しており、
まちの活性化につながっている

本プランではスポーツを通じて、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに健康であり、人との交流などを通して生きがいを持って活躍することで、まちのにぎわいや魅力が創出され、活性化につながっていくことをめざします。

基本方針

スポーツに関する課題を解決するとともに、めざす姿を実現するため、施策展開の方向性として、4つの基本方針を掲げています。

1

スポーツをすべての



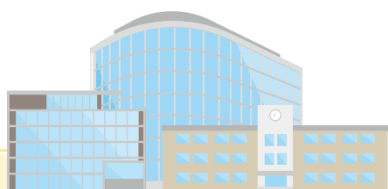
市民にとって
身近な存在に
していきます



2

豊富な
スポーツ資源を生かし、
まちの魅力創出に
つなげます

3



多様な担い手の
連携・共働により、
市民のスポーツの
裾野を広げます



4

市民に対する
情報の発信と収集を
積極的に実施します

施策体系

施策の柱

主な取組方針

★は重点取組



スポーツを
「する」
機会の拡充



(1)子どもが楽しくスポーツに取り組める
機会の提供 ★

(2)成人に対する体力等のレベルや趣向に応じた
スポーツ機会の提供

(3)気軽に障がい者がスポーツに取り組むことが
できる機会の提供



スポーツを
「楽しむ」
風土の醸成

(1)本市ゆかりのアスリート及びスポーツチームの
応援・交流の推進

(2)豊田スタジアム、スカイホール豊田を生かした
「見る」スポーツの推進

(3)地域の活性化に効果的な
スポーツツーリズムの取組の推進 ★



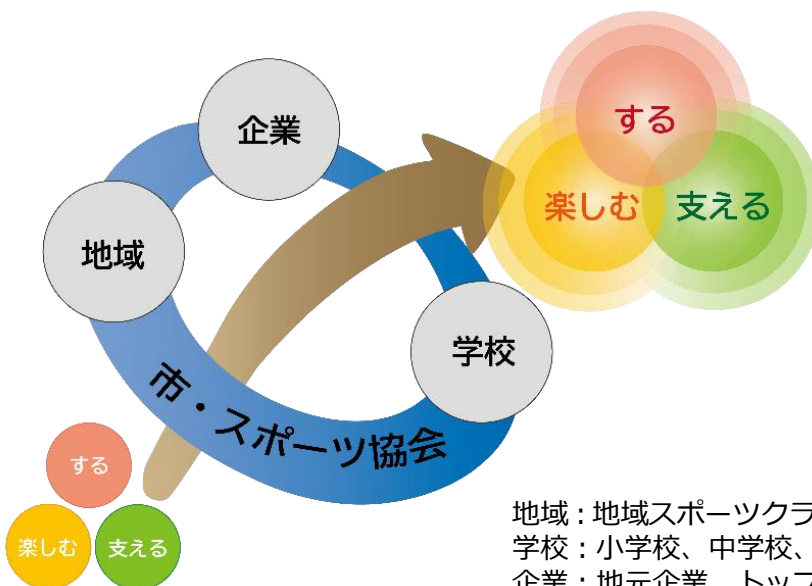
スポーツを
「支える」
体制強化と
人材の育成・活用

(1)スポーツ団体及びスポーツ指導者への
支援と連携強化 ★

(2)安全・安心なスポーツ施設の運営と利便性の向上

(3)スポーツ情報の積極的な収集と発信

「する」「楽しむ」「支える」の相乗効果について



「する」「楽しむ」「支える」の3つの柱が連携し、つながることで、市民のスポーツができる環境が充実します。

「する」「楽しむ」「支える」ことを総合的に推進し、相互に作用することで、めざす姿の実現に近づいていきます。


地域：地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員など
学校：小学校、中学校、高等学校、大学など
企業：地元企業、トップスポーツチームなど

施策の柱 1 > スポーツを「する」機会の拡充

(1) 子どもが楽しくスポーツに取り組める機会の提供

重点取組

状態指標

指標内容	現状値(2019年度)	めざす方向
1日60分以上運動する ①小学生の割合 ②中学生の割合	①小学生 38.7% ②中学生 69.5%	

主な取組

- 小中学生向けのスポーツ教室の支援
- 企業・大学と連携したスポーツ教室や体験会の実施
- 中学校部活動と連携した活動の支援



(2) 成人に対する体力等のレベルや趣向に応じたスポーツ機会の提供

状態指標

指標内容	現状値(2020年度)	めざす方向
週1回以上スポーツを実施する成人の割合	55.7%	

主な取組

- 豊田マラソンの開催
- 市民総合体育大会等の開催
- 地域スポーツクラブ連携健康増進事業の実施



(3) 気軽に障がい者がスポーツに取り組むことができる機会の提供

状態指標

指標内容	現状値	めざす方向
スポーツ・レクリエーション活動を行う障がい者の割合	—	

主な取組

- 障がい者スポーツ教室の開催
- パラアスリート等の障がい者スポーツ体験会等への活用
- 地域で障がい者が参加できるスポーツ教室開催の推進



施策の柱 2 スポーツを「楽しむ」風土の醸成

(1) 本市ゆかりのアスリート及びスポーツチームの応援・交流の推進

状態指標

指標内容	現状値(2021年度)	めざす方向
個別のトップスポーツチームやわがまちアスリートを認知している市民の割合	①豊田市わがまちアスリート 62.3% ②名古屋グランパス 100.0% ③トヨタヴェルブリッツ 75.4% ④トヨタ自動車硬式野球部 76.9% ⑤トヨタ自動車レッドテリアーズ 34.2%	↑

主な取組

- わがまちアスリート応援事業
- ホームチーム応援事業
- Jリーグホームタウン事業
- 夢の教室



(2) 豊田スタジアム、スカイホール豊田を生かした「見る」スポーツの推進

状態指標

指標内容	現状値(2019年度)	めざす方向
①豊田スタジアムで開催するスポーツ大会数、観客数	①大会数 14件 観客数 498,096人	↑
②スカイホール豊田で開催するスポーツ大会数、観客数	②大会数 6件 観客数 36,889人	

主な取組

- 豊田スタジアム、スカイホール豊田でのトップスポーツの誘致・開催
- アジア競技大会の開催に必要な会場整備



(3) 地域の活性化に効果的なスポーツツーリズムの取組の推進

重点取組

状態指標

指標内容	現状値(2019年度)	めざす方向
①経済波及効果 ②まちなかの賑わい創出	① Jリーググランパス公式戦における市内消費額 11,055円/人 ②大規模スポーツイベントの開催時におけるまちなかの歩行者通行量 242,522人/日	↑

主な取組

- ラリーを生かしたまちづくりの推進
- 市内の宿泊等が見込まれる大規模スポーツ大会の誘致と地域活性化に向けた取組
- 中央公園第二期整備におけるスポーツエリアの検討・整備



施策の柱 3 スポーツを「支える」体制強化と 人材の育成・活用

(1) スポーツ団体及びスポーツ指導者への支援と連携強化

重点取組

状態指標

指標内容	現状値(2020年度)	めざす方向
スポーツを「支える」活動をした市民の割合	5.2%	↑

主な取組

- スポーツボランティアとよたの活動促進
- 地域スポーツクラブの活動支援と未設立地区への拡大
- スポーツ関係者による会議開催



(2) 安全・安心なスポーツ施設の運営と利便性の向上

状態指標

指標内容	現状値(2020年度)	めざす方向
市営スポーツ施設における重大事故件数	1件	↓

主な取組

- スポーツ施設・学校施設開放の運用方法の見直し
- スポーツ施設・学校施設開放の適切な維持管理



(3) スポーツ情報の積極的な収集と発信

状態指標

指標内容	現状値(2020年度)	めざす方向
運動やスポーツをする上で情報不足を感じる市民の割合	29.1%	↓

主な取組

- 市の情報発信媒体を活用したスポーツ情報の発信
- 市民スポーツ調査の実施



第4次豊田市生涯スポーツプラン 概要版 2022年3月策定
 編集：豊田市生涯活躍部生涯スポーツ推進課
 〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地
 TEL 0565-34-6632 FAX 0565-32-9779